

ジャズを楽しめる場所に

本町にライブハウス

国内ジャズ発祥の地とされる神戸で数少なくなつたビッグバンド向けのステージを作ろうと、吉見淳二さん(64)＝大蔵谷＝が15日、本町2にライブハウス「Pochi (ポチ)」を開く。神戸を中心に活動するプロアマ混成バンド「ポチ・ジャズ・クラブ」を率いる吉見さんは「明石から元気を発信し、神戸のジャズを盛り上げたい」と話す。

(小林伸哉)

プロアマ混成バンド代表・吉見さん開設



大学時代に応援団でトロンボーンを吹いていた吉見さんは、神戸に就職してジャズと出合った。生演奏の迫力に引き込まれ、週3回はライブハウスに通い詰めたという。

しかし、阪神・淡路大震災などで神戸のライブハウスは激減。「聴く機会が減るなら、自分の好きな音楽を自分で奏でよう」。8年前に昔からあこがれていたトランペットに転向し、友人と2人でバンドを組んだ。

2004年10月、ピア

ニスト安藤義則さんらプロが加わって同クラブを

あすオープン「明石から元気を発信」

結成。メンバーは神戸や明石などから集まり、中学生から70代までの約40人までに増えた。神戸を中心に年間約30回、盲導犬普及のチャリティーコンサートなどを続ける。オリジナル曲を多く手掛けるのが特徴。また、スタンダードの名曲は柔らかさと緊張感を織り交ぜた独自のアレンジで演奏する。

県内でビッグバンドが練習できる場は限られるといい、約140平方メートルの広々としたライブハウスの誕生にメンバーの期待は膨らむ。トロンボーンを吹く西朝霧丘の津野啓三さん(64)は「音楽を奏でればいつまでも青春が続く。十分な環境で腕を磨き、いい音を届けたい」と意気込む。

毎週土曜は「ビッグバンドデー」で明石のアマチュアバンドが出演。入場者が参加する「セッションデー」もある。午後6～11時。日曜定休。

ポチ ☎078・911

・3100

念願のライブハウスで練習に励む吉見淳二さん(手前右)。「みんなで楽しめる音楽を」と夢は膨らむ＝本町2